



## 治療後の痛みや違和感

気になるその症状のワケをお話します！！

治療が終わった後でも痛みや違和感が残って気になったことはありませんか？  
歯科の治療は、虫歯の治療ひとつとっても、生体の一部を削る外科的な処置を伴います。  
そのため、いい治療が出来て予後が順調でも一時的に痛みや違和感が出ることがあります。

### 詰めた後にしみるってなぜ？

象牙質まで進んだ虫歯を治療する際、幸い神経をとらずにすんだ歯に、治療後冷たい物がしみる、違和感がある、強く噛むと痛いなどの症状が出ることがあります。それには歯の構造が関係しています。実は、象牙質は細いチューブを寄せ集めたような構造をしていて、そのチューブの中を神経から伸びる細長い神経組織が通っています。つまり、象牙質がむき出しになるということは神経がむき出しになることとほとんど同じなのです。しかし、生体には素晴らしい防御機能があって神経への刺激をシャットダウンするための壁をつくります。この壁が出来るとに 3 カ月ほどかかりますがこの壁が出来ると症状がなくなります。その為、しみてもしばらく様子を見る必要があります。

### 歯根の治療の痛みと腫れ、違和感

治療が終わったあと、すぐにスッキリと楽になればいいのですが、何もしなくても痛む、歯が浮くような感じがするなどの違和感は少なくとも数日は続きます。また、治療する前は何も症状がなくても、治療の刺激で一気に急性化して症状が出ることがあります。これらの症状は根の先までしっかりと治療をしようとするとおきてしまいます。急性症状が出た場合は、抗生剤を飲んで頂き、仮のふたを外して膿を出すなどの応急処置を行います。急激な痛みで驚かれるでしょうが、しっかりと歯科医師が対応いたしますので、最後まで治療を受けましょう。

### 麻酔後の痛み、なぜ？

歯科治療で麻酔注射をすると、針をさした場所にばい菌が入り軽い炎症を起こすことがあります。歯ぐきに注射をしてもおこりますが、一番症状が目立つのが、歯根膜に注射をする場合です。歯根膜はち密で、強い線維です。極細の針で注射をしますがなかなかスツとは入りません。グーッとゆっくり差し込み麻酔薬を注入します。歯根膜麻酔は、激しい痛みを発している神経を取り除く歯根の治療で、麻酔が効きにくいときなどによく効く為、治療のストレスの軽減に効果的な一方、歯肉の溝に隠れている菌が敏感なセンサーである歯根膜の傷に軽い炎症を起こしやすいのです。その為、麻酔からさめて噛んだ時に、少し響くような歯が浮く感じがするのです。通常は数日で消えますので、ご安心頂きたいと思います。

